

令和3年度第1回四街道市みどりの基本計画推進委員会 会議録

日 時 令和4年2月10日(木) 15時00分～17時00分

場 所 四街道市保健センター大会議室

出席者

(委員)	鹿渡山林組合	小川 秀雄
	たろやま会	太田 祐二
	特定非営利活動法人四街道メダカの会	芳賀 義弘
	四街道里山の会	鶴田 輝之
	四街道市シニアクラブ連合会	酒井 壽男
	四街道自然同好会	晝間 初枝
	四街道フォレスト	富所 憲司
	四街道水辺の会	任海 正衛
	環境政策課	三上 徹
	産業振興課	齊藤 義昭
	土木課	渡辺 剛
	市街地整備課	松本 信史
	下水道課	板倉 浩

(事務局) 嶋田浩司都市部長、白鳥由紀雄都市計画課長、新木誠公園緑地係長
渡邊洋介主任主事、平地渉主事

傍聴者 2名

【会議次第】

1. 開 会
2. 部長挨拶
3. 委員紹介
4. 事務局紹介
5. 委員長挨拶
6. 議題
 - (1) みどりの基本計画 長期行動計画の進捗状況について
 - (2) 栗山みどりの保全事業の進捗状況について
 - (3) 各市民団体からの報告
 - (4) その他
7. 閉会

【会議経過】

①会議録の作成について、発言者を明記することに決定

②任海委員長より公開、非公開を諮り、異議なしで公開決定（傍聴者2名）

③議題

(1) みどりの基本計画 長期行動計画の進捗状況について

事務局(新木) 事務局より説明

小川委員 保存樹木の補助金は現在も出しているのか。

齊藤委員 平成27年までは補助金として樹木1本あたり3千円出していたが、平成28年度より廃止している。

小川委員 生垣の補助金は現在も出しているのか。

事務局(新木) 現在は廃止している。

小川委員 環境観察モデル地区の指定は市が検討するとあるが、以前あった郷土の森では火災が発生したときや枝木が落ちたときの責任をどうするかという点が課題だったので所有者が困らないよう配慮してもらいたい。

三上委員 ご意見については課に持ち帰り検討するが、環境観察モデル地区の指定については総合公園を含めた上野、和田地区を候補地として進めているため、今後地権者とも話し合いながら進めていく。

太田委員 自然環境調査について検討するとあるが、状況はどうか。

三上委員 自然環境調査については環境観察モデル地区の候補地選定のために実施するものであり、平成18年に実施した調査で得られたデータを分析することで候補地の選定は可能であると考えているため、新たに実施する予定はない。

太田委員 これは、市全体の自然環境調査をやるということじゃなくて、モデル地区指定のための調査を意味しているということか。

三上委員 その通り。

晝間委員 ホタルの自生地を継続して借り上げ、保全に努めるとあるが、平成29年度から令和2年度まで内容が同じなので、詳しく話していただきたい。

三上委員 ホタルの自生する貴重な環境を維持していくために、四街道自然同好会の方や地域の方と草刈りや清掃活動の支援をしている。また、団体の活動維持のために草刈り等に必要な物品の支給など側面的な支援も積極的に取り組んでいきたいと考えている。

(2) 栗山みどりの保全事業について

事務局(新木) 事務局より説明

意見なし

(3) 各市民団体からの報告

任海委員長 市民団体から出された内容について市の考え方が書かれているが、様々な問題があり、個別に質疑することは難しいため項目に分けて進めたい。
まず、ナラ枯れについて太田委員から報告をお願いしたい。

太田委員 ナラ枯れはカシノナガキクイムシという虫が伝染する病気で、夏に突然コナラが枯れる。大体30センチくらいの太い木に多く、道路脇など開けた場所で被害が起きやすい。市内の栗山小鳥の森や総合公園でも見られており、県内全域で広がっている。昨年は29市町村、37ヘクタールの被害が出ている。たろやまの郷では四街道フォレストが作業し、ビニール被覆やトラップの設置を行った。枯れた木からは翌年大量に発生するので、単に伐採するだけでなく虫が出ないようにビニール被覆をしているが対策は非常に難しく、被害を防ぐことはなかなかできない。5年くらいは被害が続くと言われていて、ますます増えていく。ナラ枯れ被害対策マニュアルに色々な方法が書いてあり、一番良い対策は伐採した木を焼却することだが搬出が難しい。

小川委員 郷土の森でもナラ枯れが起きており、何も手を打てていないが、薬剤散布は効果があるのか。どのような薬剤を使ったのか。

事務局(渡邊) たろやまの郷でのナラ枯れ被害では、伐採した樹木にカーバム剤という薬剤をかけ、その上にシートを2週間程度かけ被覆することによって殺虫した。

任海委員長 薬剤の目的としては予防的だったり、木を生き返らせるようなものではないのか。

事務局(渡邊) 殺虫するだけであり、予防的なものではない。

任海委員長 実際に作業を行った四街道フォレストから補足をお願いしたい。

富所委員 太田委員からも話があったように、たろやまの郷で昨年10月から作業しており、一回の活動で6本を目標に伐採している。一番良い処理方法は焼却だと思うが、それができないので薬剤をかけるとか、ビニールを巻いておくというのが現実である。ビニールの巻いてある木がたくさんあると里山という感じが無くなるので、これをどうするのが問題だと思っている。

任海委員長 これについて、市ならびに県がどのように考えてい施策を進めていくかについて産業振興課から説明をお願いしたい。

- 齊藤委員 ナラ枯れについては県内全域に広がっているということで、県でも千葉県ナラ枯れ被害対策協議会を立ち上げた。コロナの影響もあり研修会などは行えていないが、県内の被害状況調査をやっているので、結果は関係課に情報提供したい。また、国では森林病虫害防除事業の補助金がある。これまではマツの害虫防除を対象としていたがナラ枯れにも対応するというので市としてもやりたいと手を挙げている。この補助金がついたという結果はまだ来ていないが、予算は計上しているため、次年度にモデル事業を作りたいと考えている。産業振興課としても四街道フォレストの方がどのような対応をしているのか現場を見たいので、そのような機会があれば声をかけていただきたい。
- 任海委員長 次に、総合公園の木道周辺の環境保全について鶴田委員から説明をお願いしたい。
- 鶴田委員 ニホンカワトンボは四街道で2か所しか生息しなかったが、2016年ごろからほとんど見なくなり、絶滅していると思う。これまでも色々と保全の提案をしたがいつもだめだという回答しかない。行政がどう考えているのか聞かせてもらいたい。また、以前あった郷土の森はキンランやイヌショウマが生えていたが、今は立ち入り禁止になっている。所有者を含めて保全の話し合いができないか。
- 任海委員長 総合公園で環境が悪化していてカワトンボが見られなくなったと。
- 鶴田委員 一つは除草の問題があつてなるべく手伝ってきた。切られた木の補植を提案したが断られて打つ手がない。
- 任海委員長 総合公園ではカタクリの保全もあるが、総合公園を環境観察モデル地区に指定すれば問題ないんじゃないかと。市民団体と市でどう保全するか議論しながら進めるのが現実的ではないかと思うが、5～6年進んでないということで、環境政策課から再度説明をお願いしたい。
- 三上委員 先ほどもお答えしたとおり、環境観察モデル地区の指定については総合公園を含む上野、和田地区を候補地として進めている段階。今後は市民団体の方々の意見も聞きながら進めたいと考えている。
- 任海委員長 総合公園木道周辺の管理方法について、都市計画課から説明をお願いしたい。
- 事務局(渡邊) カワトンボの話は公園事務所でもお聞きしながら管理をしてきたが、新規に植栽をするということはその後の維持管理の観点から許可できないのが現状である。
- 鶴田委員 具体的な話し合いをもったことはこれまでないかと思う。
- 任海委員長 なかなかそういう機会がなかったということだが、今後について関係課や市民団体に話し合いが必要かと思う。この委員会で決定する権限はないと思うが、そういう方向にできるよう提案したい。

- 鶴田委員 市の考え方として、民有地の保全是現時点では難しいと書いてある。民有地をどうこうしたいのではなくて、貴重な植物を守る方法はないかというような話し合いをしたい。それから、市内の散策コースのことで小名木川の水質はBOD、CODも問題ないが大腸菌はちょっと高いのでケアが必要。魚道の話もできません、やる予定はありませんだけではどういう考えなのかわからない。
- 任海委員長 まず、総合公園の木道についてはモデル地区に指定できれば一番良い。市の関係部署と市民団体で協議という形で提案したいと思う。具体的な方法については今後詰めていきたい。それから、上野、和田地区までモデル地区を広げると私有地もあり難しいので、木道部分だけでも指定できれば良い。その辺の工夫も含めてお願いしたい。
続いて、ホタルの問題について晝間委員より説明をお願いしたい。
- 晝間委員 四街道自然同好会では平成6年から28年間ホタルの調査を行い、ホタルの里の整備を進めてきた。当初は15か所あったが、現在は8か所でデータを取っており、生息数は平成19年をピークに減少続きで本当に少なくなっている。ホタルを増やすためには湿地、里山を草刈り等で整備し、活用することが大事だと思っている。長く活動を続けてきたが会員の高齢化が進んでおり、湿地での草刈りや夜間の調査は大変危険を伴うこともあるので困っている。市では土地を借り上げたり物資の支援などで協力していただいているが、ホタルをどういう風に守っていこうかという話し合いの場は持たれていない。ホタルの今後について知恵を出し合える場ができるよう声掛けしてもらいたい。
- 任海委員長 ホタルを四街道の財産として何かしていくべきだという指摘をいただいた。今、市の政策推進課にホタルをPRできないかと話をして、非常に乗り気なので、そういう集まりがあればぜひ参加したい。ホタルについて、担当としてはどう考えているのか、環境政策課からお願いしたい。
- 三上委員 ホタルの意見交換会についてこの場でお答えすることは難しいが、高齢化などによって活動が難しくなっているという状況はこちらとしても理解しているので、ボランティアの募集を市のホームページや市政だよりでやっていきたい。
- 晝間委員 八千代市では市とボランティア団体が一緒に話し合う活動をしている。ホタルは市の財産で、貴重な自然資源だと思う。それをどう守っていくのかということは今ここで立ち止まって考えないと更に減少してしまうんじゃないか。調査や草刈りなどを継続することは大変だが、何とかホタルを守っていこうとしているので、市も一緒にやって、ぜひ良い方向に向かうようになれば良い。ここが最後のチャンスだと思っている。
- 任海委員長 実は今一番多くホタルが出るのがたろやまの郷で、昨年度は240匹いた。市が自然同好会と一緒に保全したところは残念ながら37匹と非常に少ない。これは工事や土砂崩れの影響があると思うが、このままだとカワトンボのようにいなくなることもありえるので、ぜひ環境政策課が音頭を取って市民団体と協議していただきたい。
続いて希少種の保全について、鶴田委員から補足をお願いしたい。

- 鶴田委員 郷土の森のような民有地にはクサナギオゴケ、イヌショウマ、キンランのような希少な植物がたくさんあるので、民有地だから保全できないではなくて、何とかならないか。
- 任海委員長 環境政策課から持ち主を特定して働きかけることはできないか。
- 三上委員 民有地となると難しい。
- 任海委員長 では、クマガイソウ群落の保全に移るが、成山に550～600あり、非常に貴重なものである。環境基金から助成金を受けて個人で保全しているが、個人任せにするものではないと思う。市の財産という形で見ていく必要があるんじゃないか。
- 晝間委員 クマガイソウ、クサナギオゴケ、イヌショウマもかつてはごく普通にあったものだが里山が荒れて消滅の危機にあるので、民有地でも何らかの形で保全ができれば良いと思う。
- 太田委員 所有者が対応するのが大原則だと思う。市の限られた予算、人員ではいくらお願いしてもできないこともあるんだということは理解しなければいけない。観光資源になるとかメリットがあれば市も動きやすいのでは。
- 小川委員 クマガイソウは郷土の森にもあったが盗まれてなくなった。
- 任海委員長 盗掘対策を個人でやるのは大変で、希少種の保全は民有地だから何もしないではなく何らかの方法を考えてほしい。
- 任海委員長 たかおの杜周辺の保全については私から説明するので晝間委員に議事進行をお願いする。
- 晝間委員 それではたかおの杜周辺の保全について任海委員からお願いしたい。
- 任海委員 たかおの杜地区の区画整理がほぼ終わったところだが、水鳥の集まる調整池や、広大な緑地がある。これをどのように保全していくのか。また、3つある公園のうち更地の公園はどのように活用するのか。長期行動計画では特色ある公園づくりをすると書いてあるので、ワークショップを行って子どもたちをはじめとする市民の意見を聞きながら活用の仕方を検討してほしい。
- 事務局(渡邊) 公園に関してはまだ移管を受けていないが、1号公園はフェンスを高くしてボール遊びがしやすいよう配慮した。その他の公園については具体的な考えはないが今後検討していきたい。
- 晝間委員 公園についてはたかおの杜で活動している団体の意見を聞きながら特色ある公園づくりを進めていただきたい。
- 任海委員 残存緑地を管理するのはどちらの課になるのか。

- 事務局(新木) 民有緑地については昨年12月に緑地協定を結んでおり、30年間緑地として所有者が保全していく。その他の残存緑地等は下水道課、都市計画課に移管するということが組合と協議しているが、これほど広大な緑地の移管を受けることはこれまでなかったので関係課と協議しながら考えていきたい。
- 晝間委員 市民に開放されたまちとして新しい公園なり緑地なりができればいいと思う。委員長に議事進行を戻すのでお願いしたい。
- 任海委員長 その他のこととして特定外来種、市内の散策コース、たろやまの郷の保全、ボランティア育成があるがご意見を伺いたい。
- 富所委員 活動する人の高齢化が進んでいるので、今後のことを考えて森林ボランティア養成講座を3回だけではなく長いスパンでやってもらいたい。どこかで終わってしまうことのないよう早めに手を打ってもらえればと思う。また、団体と行政が関わる機会が少ないので仕組みを考えてもらいたい。
- 任海委員長 その他、何か意見があれば伺いたい。
- 事務局(嶋田部長) 本日は4年ぶりの開催というなかで、貴重なご意見等をいただいたことに感謝申しあげたい。即答できない内容もあったがご理解いただければと思う。いただいたご意見はまず持ち帰り、内容を分析したうえで各々の分野で意見をいただいたり、協議をさせていただきたい。
- 任海委員長 それでは、以上をもって、令和3年度第1回四街道市みどりの基本計画推進委員会を閉会する。